



平成 31 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山喜久雄
(コード：3947 東証・名証第 2 部)
問合せ先 取締役常務執行役員 草野 雅夫
経営企画本部長
(電話番号 052-971-2651)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 11 月 2 日に公表しました平成 30 年 12 月期(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正
(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	52,400	△460	△120	430	43 円 49 銭
今回修正予想 (B)	53,000	△470	△120	△860	△86 円 98 銭
増 減 額 (B-A)	600	△10	0	△1,290	—
増 減 率 (%)	1.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期)	49,752	304	654	1,244	125 円 91 銭

2. 修正の理由

売上高につきましては、当初の予想を上回る結果となりましたが、昨年 11 月以降の段ボール原紙価格の再値上げの影響が生じたため、営業利益および経常利益につきましては、当初の予想どおりの結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、この段ボール原紙価格の再値上げの影響等が段ボール製造拠点の収益を圧迫したため、本日付で公表しておりますとおり当社の一部の拠点において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、対象拠点の事業用資産に対する将来の回収可能性を検討した結果、第 3 四半期決算で計上した分を含め減損損失 15 億 66 百万円を特別損失に計上いたしました。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以 上